

2024 多摩教組夏季教育研究集会

昨年度はドラッグクイーンのマーガレットさんをお呼びして、ジェンダーについて学びを深めることができました。そして今年度。多摩教組「楽校」連続講座として「いまこそ平和学習」をテーマに平和について学んでいる最中ですが、その中間まとめ的な位置づけとして、「ひろしまのピカ朗読」と「被爆者のお話」の2本立てでの記念講演を企画しました。朗読ではヒロシマをテーマにした「父と暮らせば」の上演をライフワークとされている俳優の岡崎弥保さんの朗読と三田政明さんによる作品解説、被爆証言は93歳にして今なお精力的に活動されている松本正さんをお迎えして貴重な証言をお聞きします。実践レポートも3本発表がありますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

※ 多摩教組夏季教研は教員だけでなく広く市民に開かれた教研ですので、教員以外のご参加も大歓迎です。

日時 2024年9月14日(土) 13:30-17:00

場所 オープンイノベーションフィールド多摩・国分寺館(旧国分寺労政会館) セミナールーム2

東京都国分寺市南町3-22-10

JR 中央線「国分寺」駅南口より徒歩5分(駐車場は障がい者用2台のみ。駐輪場あり。)

内容 13:30-14:20 「ひろしまのピカ」朗読会

14:30-15:20 被爆証言

15:30-16:00 実践報告① 「詩を書こう」武捨健一郎さん(武蔵村山2小分会)

16:00-16:10 実践報告② 「内容は調整中」本間翠さん(小金井2小分会)

16:10-17:00 実践報告③ 「道徳と人権」宮澤弘道さん(東村山・北山小分会)

出演者プロフィール

岡崎弥保（おかざき みほ）

俳優・語り手。身体を通した言葉の力に魅せられて編集者から舞台の世界に。東日本大震災をきっかけに非核の物語を語り始める。2014年から9年間、井上ひさし「父と暮らせば」の福吉美津江役を演じる。「ひろしまのピカ」「源氏物語」「平家物語」「おくのほそ道」、樋口一葉作品、日本昔話など、朗読CD・オーディオブック収録多数。現在、丸木俊の絵本「ひろしまのピカ」の朗読をライフワークとし、100回公演をめざして全国各地で語り継いでいる。

公式HP「言の葉」

<https://ohimikazako.wixsite.com/kotonoha>



三田政明（みた まさあき）

東日本大震災でのボランティアを契機に、横浜市の高等特別支援学校の教員となる。定年退職後、岡崎と二人三脚で「ひろしまのピカ」朗読公演に取り組んでいる。現在、「神奈川・横浜の夜間中学を考える会」事務局員、「ココロはずむアート展」事務局、「新しい絵の会」会員。『新時代の知的障害特別支援学校の図画工作・美術の指導』（ジーアス教育新社）に論文執筆。東京芸術大学『美術と教育リサーチプロジェクト2019』『こんな授業を受けてみたい』企画取材を受ける。授業動画↓

<https://www.youtube.com/watch?v=3oixFi-H5ng>



松本正（まつもと ただし）

広島県立広島第二中学校二十二回生。横浜市原爆被災者の会（浜友の会）元事務局長。1931年1月6日、広島県広島市の西大工町で生まれる。広島二中3年生（14歳）で被爆。最愛の弟をはじめ身内10人を原爆で失う。時事通信社、晃和ディスプレイを経て、1980年「マツモト・デザイン」設立。広島二中同窓会「二二会」常任理事、在京芸陽観音同窓会会長等を歴任。90歳を過ぎた現在も原爆の語り部として活躍中。今夏、93歳で自身の被爆証言をまとめた『ピカで犠牲の声聞こゆ』（オフィスなかおか）が刊行された。